

ビール片手に、北近畿をめぐる！

～クラフトビールと地域の魅力を知る旅～

背景・目的

福知山および北近畿地域に開設され、醸造を開始した複数のクラフトビールブルワリーを結び、ビールを「醸造する」という点に焦点を当てた新しい魅力発信をICT技術で実現するとともに、地域特産品としてのクラフトビールを起点とした中丹並びに北近畿地域のファン拡大を目論む。

基本構想：Webサイト、SNSによるクラフトビールを起点とした地域特産の情報発信

- 情報発信の起点となるWebサイトの構築（Beer College ～びあかれ～）→→→→
- ICT技術を用いた、新しいビール醸造過程のコンテンツ化
 - タイムラプス映像によるビール貯留工程の撮影、YouTubeでの公開
- クラフトビールの良さ+酒文化継承のための情報提供記事の作成
- 北近畿のクラフトビールの良さを広報するため、北近畿のブルワリー紹介記事作成



企画1：北近畿ブルワリーツアー

目的：

- 北近畿のクラフトビールの広報
- Webサイトコンテンツの取材

協力ブルワリー等（順不同敬称略）：

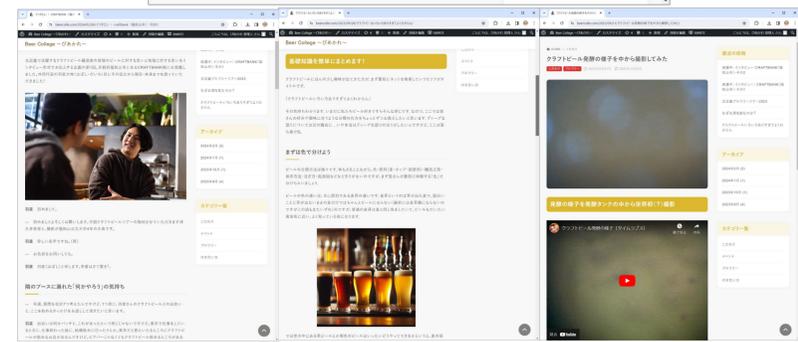
- CraftBank（福知山市）
- 丹後王国ビール（京丹後市）
- TANGOYA BREWERY（与謝野町）
- 与謝野ホップ圃場（与謝野町）
- Primary Barrels（福知山市）

概要：北近畿のブルワリーをバスで制覇するクラフトビール堪能ツアー

- 1泊2日で各ブルワリーをめぐるバスツアー
 - 2023年12月16日～17日に開催
- 昼間はブルワリー見学+試飲
- 夜は各ブルワリー提供ビールおよび北近畿の名産品による体験会

結果：

- 参加者9名
 - 内訳：京都市4名、福知山市5名/学生5名
 - 参加者各位には企画の様子をそれぞれのSNSメディアで広報いただく想定
- 参加者の反応は好意的
- 体験会会場では地域住民との交流も発生



Beer College ～びあかれ～ Webサイト（一部）

企画2：北近畿ビールスタンプラリー

目的：

- 北近畿のクラフトビールのアピール
- 酒文化継承のためのきっかけ作り

協力店舗等（2/19現在）：

- クラフトビールブルワリー4社
 - ツアー協力ブルワリーと同一
- 飲食店6店舗
 - 福知山市：和食・中華居酒屋等
 - 与謝野町：ブルーパブ等
 - 現在北近畿の各店舗に協力依頼中

概要：北近畿のクラフトビールや珍しいビールを提供する飲食店等を結ぶスタンプラリー

- 開催期間：1か月
 - 2023年3月1日～31日
- 参加店舗にポスターを掲示...Webサイトへの誘導
- スタンプラリー達成者にはクラフトビール関連景品（各ブルワリー広報資材）を提供



取り組みに対する実施者の想い

今回の企画を通して、それぞれのブルワリーの方々の想い、ビールに関する知識を多く知ることができた。

ツアーの中ですでに醸造を始めているブルワリー、まだ免許が交付されておらず醸造を始められていないブルワリーがあったが、どのブルワリーでもクラフトビールを通して地域を盛り上げたいという思いを持っていると感じた。その中に、ビールの原料に地域で育てられた果物や麦を含む事例があった。1次産業を巻き込んで1つの商品を作るという難易度が高い事業展開ができることがクラフトビールならではの強みだと考えられる。このことから、クラフトビールを通して地域の特産を知るきっかけを作り、その特産品の購入に繋げることができるのではないかと感じた。

ビールに対して苦手意識を持つ人たちに対して、様々な味と香りをもつクラフトビールは最高の入り口となること、また、おいしいお酒の飲み方を知ることに関してもクラフトビールは良いきっかけになるのではないかと感じた。大学生はお酒の飲み方を知らない人が多く、お酒に対して悪いイメージを持っている人も少なからずいると思うが、ツアーを通しておいしいお酒をおいしく飲む方法を学ぶ事でビールに限らずお酒自体を好きになってくれるのではないかと感じられた。

（福知山公立大学4年 大島）

今後の展望

- 継続的なイベント実施とコンテンツの拡充...コスト感の把握ができたので、今後は参加ブルワリーの支援の下で企画実施を検討
- 学生への広報の拡充...学生向け広報誌との連携、Web/SNSコンテンツの拡大と積極的な情報発信
- 協力ブルワリー等の拡充...北近畿エリアにとどまらず、京都市内等のブルワリー・飲食店への広報による北近畿の存在感の拡大